

## チリ政治情勢報告（11月）

平成25年12月

### 1. 概要

（1）内政においては11月17日に大統領選挙第1回目投票が実施され、1位となったバチェレ候補（野党会派）及び2位のマテイ候補（与党会派）が12月15日の決選投票に進むことが決定した。

（2）外交においては、モレノ外相がドイツを訪問し太平洋同盟に関するセミナーに参加したほか、ルーラ・前ブラジル大統領らがチリを訪問した。

（3）12月4日発表のAdimark GfK社調査による11月のピニエラ大統領の支持率は43%、不支持率は47%となった。

### 2. 内政

#### （1）2013年大統領選挙

17日、当地において大統領選挙第1回目投票が行われた。過去最多となる9名が立候補した今次選挙では、バチェレ候補が46.68%（305万864票）の得票率で1位となり、2位のマテイ候補（25.01%、163万4917票）とともに12月15日の決選投票に進出することが決定した。なお、チリ選挙管理委員会（Servel）によると、任意投票制が導入された今次選挙における投票者数は667万9391人（全有権者の約49.2%）であり、義務投票制のもと行われた前回選挙での投票者数約726万人を大きく下回る数値となった。

#### ア 全候補者の得票率（開票率99.34%時点の発表）

（ア）ミッチェル・バチェレ（野党連合，社会党（PS））	46.68%
（イ）エベリン・マテイ（与党連合，独立民主同盟党（UDI））	25.01%
（ウ）マルコ・エンリケス＝オミナミ（革新党（PRO））	10.96%
（エ）フランコ・パリシ（無所属）	10.12%
（オ）マルセル・クロット（人道党）	2.80%
（カ）アルフレド・スフェイル（環境党）	2.34%
（キ）ロクサナ・ミランダ（平等党）	1.27%
（ク）リカルド・イスラエル（地方独立党）	0.57%
（ケ）トマス・ホセリン＝オルト（無所属）	0.19%

#### イ 各陣営の反応

選挙当日の21時、バチエレ候補は開票結果を踏まえて演説を行い、「本日、我々は圧倒的勝利を収めた。第一回目の投票での当選は実現しなかったが、12月（の決選投票で）は再度勝利し、必ず当選を果たす」と発言した。一方、「バ」候補が第1回目の投票で過半数を獲得し当選するとの見方もあったことから、マテイ候補陣営では決選投票の実施が好意的に受け止められた。同日夜に演説を行った「マ」候補は、「多くの人々が、我々は決選投票まで辿りつかないと予測していた（が決選投票に進出することとなった）」と感極まる声で述べ、会場からは多くの拍手と歓喜の声が沸き上がった。また同候補は「遅く開始した選挙戦であったという厳しい条件の中で決選投票まで行くことになったのは「勝利」である」と述べた。なお、3位のエンリケス＝オミナミ候補及び4位のパリシ候補は同日夜にそれぞれ敗北宣言を行い、「エ」候補は決選投票に向けて「バ」候補を間接的に支援していく意向を明らかにした。一方「パ」候補は、第1位となった「バ」候補に祝意を表明しながらも、決選投票ではいずれの候補にも投票しないと述べた。

## （2）上下両院議員選挙

17日、当国上下両院議員選挙が実施され、両院において野党会派（Nueva Mayoria：新多数派）が勝利する結果となった。右により、バチエレ候補（新多数派）が大統領に就任した場合は主要政策に掲げている項目のうち、税制改革及び国営AFP（年金基金運用会社）の創設等、両院で過半数以上の賛成票を必要とする法案の可決は新多数派が単独で行うことが可能となる。一方、高等教育の完全無償化（上下両院で7分の4以上の賛成票が必要）、多数二名制の改革（5分の3以上）、及び憲法改正（3分の2以上）といった政策の実現のためにはアリアンサとの政策合意の形成が必要となる。

### ア 上院議員選挙詳細結果（開票率99.2%）

（ア）今次選挙で改選される10選挙区20議席のうち、アリアンサは7議席、新多数派は12議席を獲得した。非改選議員（18議席）を併せると、アリアンサは16議席、新多数派は21議席となる。

（イ）首都圏州東部においてはゴルボーン前公共事業大臣（UDI）が立候補し、当選が有力視されていたが、同じ与党会派から立候補した前プエンテ・アルト区区長のオサンドン候補（RN）に敗れ落選となった。同州西部ではアラマン候補（RN）がサラケット候補（UDI）を破って当選。また、DCの重鎮の一人であるアルベアル候補は同州東部で立候補したものの、同じ新多数派のモンテス候補（PS）に敗れて落選となった。また、元上院議長であり有力政治家のエスカロナ議員（PS）も落選した。

(ウ) 次期上院議会の計 38 議席の構成は以下のとおり (括弧内は改選前の議席数)。

i アリアンサ	: 16 議席 (16)
(i)独立民主同盟党 (UDI)	: 8 議席 (8)
(ii)国民革新党 (RN)	: 8 議席 (8)
ii 新多数派	: 21 議席 (20)
(i)キリスト教民主党 (DC)	: 6 議席 (9)
(ii)民主主義のための党 (PPD)	: 6 議席 (4)
(iii)社会党 (PS)	: 6 議席 (5)
(iv)社会拡大運動党 (MAS)	: 1 議席 (1)
(v)政党無所属	: 2 議席 (0)

iii 無所属 : 1 議席 (2)

イ 下院議員選挙詳細 (開票率 99.2%)

(ア) 今次選挙の結果, アリアンサは 48 議席, 新多数派は 68 議席を獲得。なお, 全 60 選挙区のうち新多数派は 11 選挙区においてダブル当選 (各選挙区に割り当てられている 2 議席をひとつの会派で独占すること) を達成。一方, アリアンサのダブル当選は 1 選挙区のみ。

(イ) PC から立候補したバジェホ前チリ大学学生連盟 (FECH) 副会長及びカリオラ前コンセプション大学学生連盟 (FEC) 会長, 無所属で立候補したジャクソン前カトリカ大学学生連盟 (FEUC) 会長, ポリック候補 (無所属) 等, 以前学生運動のリーダーを務めていた候補がいずれも当選。

(ウ) 開票率 99.2% 時点での次期下院議会 120 議席の構成は以下のとおり (括弧内は改選前の下院議席数)。

i アリアンサ	: 48 議席 (55)
(i)独立民主同盟党 (UDI)	: 29 議席 (38)
(ii)国民革新党 (RN)	: 19 議席 (17)
(iii)政党無所属	: 1 議席 (0)
ii 新多数派	: 68 議席 (57)
(i)キリスト教民主党 (DC)	: 21 議席 (19)
(ii)民主主義のための党 (PPD)	: 15 議席 (18)
(iii)社会党 (PS)	: 15 議席 (11)
(iv)急進社会党 (PRSD)	: 6 議席 (5)
(v)共産党 (PC)	: 6 議席 (3)
(vi)政党無所属	: 4 議席 (0)

iii 無所属 : 3 議席 (8)

iv 君が望めばチリは変わる (Si tú quieres, Chile cambia) : 1 議席

### (3) 初代スポーツ大臣の就任

14日、ピネラ大統領はガブリエル・ルイス＝タグレ前国家スポーツ庁長官を初代スポーツ省大臣に任命し、同日就任式が行われた。なお、スポーツ省の発足は大臣就任から30日後となる。従来まで国家のスポーツ政策は、内閣官房の外局である国家スポーツ研究所 (IND) が担ってきたが、スポーツ行政の効率化及び体系化を目的として本年8月19日、スポーツ省の創設を制定した法令20.686号が公布された。同省においては、国家スポーツ政策の策定及び評価、国民間の効率的な身体運動促進のためのプログラム作成、教育省、保健省及び社会開発省といった他省庁との協力の推進、スポーツインフラの改善、並びにスポーツに関する研究調査の体系化等に向けた取り組みが開始される。

## **3. 外交**

### (1) モレノ外相のドイツ訪問

ア 5日、モレノ外相はドイツ・ハンブルグ市を訪問し、ヴェスターヴェレ独外相と会談した。同会談においては太平洋同盟に関する意見交換が行われ、同同盟の枠組みにおける独チリ関係の強化のための話し合いがもたれた。

イ また「モ」外相は、オルギン・コロンビア外相、ビジャリアル・メキシコ経済大臣らと共にラテンアメリカ・デーと題するセミナーに出席して太平洋同盟に関する発表を行い、同同盟はドイツの投資家にとっても魅力的であることを強調した。

### (2) ビン・サイード・アラブ首長国連邦経済大臣のチリ訪問

3日、当地において「UAE-チリ投資フォーラム」が開催され、ビン・サイード・アラブ首長国連邦経済大臣が同国の企業家約25名とともにチリを訪問した。同フォーラムではUAEの対チリ投資を進めるための意見交換が行われ、「モ」外相は「現在UAEは海外進出を進めており、チリとしても同国との関係強化に向けて関心を強めている」と述べた。

### (3) モレノ外相とアルマグロ・ウルグアイ外相の会談

11日、「モ」外相はチリを公式訪問したアルマグロ・ウルグアイ外相と会談した。両者は今後の二国間関係の緊密化に向けて、経済分野での協力促進につき合意したほか、地域機構や国際機関における協力を強化することに合意し、

2016-17年度の国連安全保障理事会における非常任理事国入りをめざし立候補するウルグアイに対する支持表明を行った。

#### (4) ルーラ・ブラジル前大統領のチリ訪問

26日、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）におけるセミナー出席のため、ルーラ・ブラジル前大統領がチリを訪問した。「ル」前大統領はモネダ宮殿においてピニェラ大統領及びモレノ外相と会談したほか、バチエレ候補の選挙対策本部を訪問して懇談を行った。また、CEPALのセミナーに出席していた、先般の下院議員選挙で当選を果たしたバジェホ次期下院議員（PC）に関し、「「バ」次期議員は女性だけでなくラ米政治における新たな思想を代表している」と発言した。